

統計表

表1 公務災害発生状況の推移(全職種)

(単位:件)

年度	認定件数	職員数	千人率
平成15年度	539	58,975	9.14
16年度	495	56,982	8.69
17年度	485	57,418	8.45
18年度	511	54,541	9.37
19年度	447	55,018	8.12
20年度	491	54,175	9.06
21年度	452	53,243	8.49
22年度	415	52,673	7.88
23年度	433	52,240	8.29
24年度	380	52,036	7.30
25年度	413	52,390	7.88
26年度	454	52,473	8.65
27年度	384	52,129	7.37
28年度	444	52,175	8.51
29年度	379	46,498	8.15
30年度	405	46,542	8.70
令和元年度	448	46,509	9.63
2年度	372	47,379	7.85
3年度	467	47,957	9.74
4年度	523	48,091	10.88

※平成29年度は、広島市の県費負担教育職員を基金広島市支部に移管したことにより、職員数が減少した。

表2 職員数の推移(職種別)

(単位:人)

職種	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
義務教育	10,858	10,943	11,007	11,175	11,174	55,157
義務その他	6,732	6,685	6,679	6,807	6,763	33,666
警察	5,666	5,657	5,662	5,700	5,681	28,366
消防	2,314	2,315	2,324	2,328	2,323	11,604
電気ガス水道	961	954	923	940	946	4,724
清掃	443	421	451	499	479	2,293
船員	9	10	10	10	10	49
医療	19,559	19,524	20,323	20,498	20,715	100,619
その他						
合計	46,542	46,509	47,379	47,957	48,091	236,478

※医療従事者及びその他については、「その他の職員」として合算したものを。

表3 公務災害発生状況の推移(職種別)

(単位:件)

職種	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
義務教育	70	63	70	74	77	354
義務その他	36	55	45	65	57	258
警察	122	133	50	76	111	492
消防	19	16	20	15	14	84
電気ガス水道	4	8	6	2	4	24
清掃	12	9	9	13	7	50
医療	76	99	114	136	153	578
その他	66	65	58	86	100	375
合計	405	448	372	467	523	2,215

表4 千人率(職員千人当たりの公務災害発生件数)の推移(職種・年度別)

(単位:件)

職 種	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
義務教育	6.45	5.76	6.36	6.62	6.89
義務その他	5.35	8.23	6.74	9.55	8.43
警察	21.53	23.51	8.83	13.33	19.54
消防	8.21	6.91	8.61	6.44	6.03
電気ガス水道	4.16	8.39	6.50	2.13	4.23
清掃	27.09	21.38	19.96	26.05	14.61
医療	7.26	8.40	8.46	10.83	12.21
その他					

※医療及びその他については、「その他の職員」として合算したもの。

表5 年齢別発生状況推移

(単位:件、%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	割合
10代	2	1	4	3	2	12	0.5%
20代	99	123	97	116	141	576	26.0%
30代	117	116	91	109	125	558	25.2%
40代	82	105	64	92	116	459	20.7%
50代	87	83	92	108	95	465	21.0%
60代以上	18	20	24	39	44	145	6.5%
人数計	405	448	372	467	523	2,215	

表6-1 年齢別職種別発生状況推移(過去5年の合計)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			8	3				1	12	0.5%
20代	77	26	165	40	5		211	52	576	26.0%
30代	60	48	177	15	5	3	185	65	558	25.2%
40代	56	59	100	16	7	13	105	103	459	20.7%
50代	120	86	41	9	6	20	62	121	465	21.0%
60代以上	41	39	1	1	1	14	15	33	145	6.5%
人数計	354	258	492	84	24	50	578	375	2,215	

表6-2 年齢別職種別発生状況推移(平成30年度)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			2						2	0.5%
20代	13	7	32	7	1		28	11	99	24.4%
30代	13	7	60	2		1	22	12	117	28.9%
40代	12	8	16	5	1	6	16	18	82	20.2%
50代	25	9	11	5	1	3	10	23	87	21.5%
60代以上	7	5	1	1	1	2		2	18	4.4%
人数計	70	36	122	19	4	12	76	66	405	

表6-3 年齢別職種別発生状況推移(令和元年度)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			1						1	0.2%
20代	13	6	45	5			46	8	123	27.5%
30代	8	11	48	5	4	2	28	10	116	25.9%
40代	12	14	30	6	3	4	16	20	105	23.4%
50代	24	17	9		1		9	23	83	18.5%
60代以上	6	7				3		4	20	4.5%
人数計	63	55	133	16	8	9	99	65	448	

表6-4 年齢別職種別発生状況推移(令和2年度)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			2	1				1	4	1.1%
20代	13	3	14	9	2		47	9	97	26.1%
30代	13	12	17	3			38	8	91	24.5%
40代	12	8	9	4	2		17	12	64	17.2%
50代	25	16	8	3	2	7	10	21	92	24.7%
60代以上	7	6				2	2	7	24	6.5%
人数計	70	45	50	20	6	9	114	58	372	

表6-5 年齢別職種別発生状況推移(令和3年度)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			2	1					3	0.6%
20代	19	6	27	9			43	12	116	24.8%
30代	12	10	25	3	1		45	13	109	23.3%
40代	9	15	15	1		2	24	26	92	19.7%
50代	23	26	7	1	1	6	17	27	108	23.1%
60代以上	11	8				5	7	8	39	8.4%
人数計	74	65	76	15	2	13	136	86	467	

表6-6 年齢別職種別発生状況推移(令和4年度)

(単位:件、%)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計	割合
10代			1	1					2	0.4%
20代	19	4	47	10	2		47	12	141	27.0%
30代	14	8	27	2			52	22	125	23.9%
40代	11	14	30		1	1	32	27	116	22.2%
50代	23	18	6		1	4	16	27	95	18.2%
60代以上	10	13		1		2	6	12	44	8.4%
人数計	77	57	111	14	4	7	153	100	523	

表7 傷病別発生状況推移

(単位:件、%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	割合
骨折	121	124	86	104	123	558	25.2%
打撲・挫傷	85	95	92	104	98	474	21.4%
創傷(擦過傷)	58	56	49	52	44	259	11.7%
刺傷	56	66	69	100	74	365	16.5%
火傷	6	8	5	2	1	22	1.0%
靱帯、腱断裂(不全も含む)	24	35	18	29	47	153	6.9%
捻挫(腰痛を除く)	28	31	22	34	46	161	7.3%
神経損傷	1	4	1	1	1	8	0.4%
脳疾患	2	1		1	1	5	0.2%
心疾患		1				1	0.0%
精神疾患(自殺を除く)		1			1	2	0.1%
呼吸器疾患	1	2	1	2	1	7	0.3%
肝臓疾患						-	-
胸腹部臓器疾患						-	-
食中毒						-	-
腰痛	6	4	5	10	14	39	1.8%
頸肩腕症候群			1			1	0.0%
皮膚炎	1				3	4	0.2%
眼疾患	7	2		8	6	23	1.0%
耳疾患	2	3	1			6	0.3%
鼻疾患						-	-
自殺(未遂含む)						-	-
その他	7	15	22	20	63	127	5.7%
人数計	405	448	372	467	523	2,215	

表8 傷病別発生状況上位3項目の推移

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	骨折	骨折	打撲・挫傷	骨折他	骨折	骨折
割合	29.9%	27.7%	24.7%	22.3%	23.5%	25.2%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	骨折	刺傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	21.0%	21.2%	23.1%	21.4%	18.7%	21.4%
3位	創傷(擦過傷)	刺傷	刺傷	創傷(擦過傷)	刺傷	刺傷
割合	14.3%	14.7%	18.5%	11.1%	14.1%	16.5%

表9 傷病別職種別発生状況推移

(単位:件)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計
骨折	126	87	191	23	4	6	34	87	558
打撲・挫傷	113	71	102	17	9	12	37	113	474
創傷(擦過傷を含む)	33	38	50	7	6	14	50	61	259
刺傷	3	6	10	3		7	309	27	365
火傷	2	5		5			6	4	22
靱帯、腱断裂	28	18	69	11	1	3	2	21	153
捻挫(腰痛を除く)	39	23	45	7	2	3	12	30	161
神経損傷	1		3				1	3	8
脳疾患	2	2					1		5
心疾患						1			1
精神疾患(自殺を除く)				1				1	2
呼吸器疾患	1						3	3	7
肝臓疾患									-
胸腹部臓器疾患									-
食中毒									-
腰痛	5	5	7	2			14	6	39
頸肩腕症候群								1	1
皮膚病				1			1	2	4
眼疾患		1	2	2	1	2	7	8	23
耳疾患	1		3	2					6
鼻疾患									-
自殺(未遂含む)									-
その他		2	10	3		3	101	8	127
人数計	354	258	492	84	24	50	578	375	2,215

表10-1 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	骨折	骨折	骨折	骨折	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	刺傷	打撲・挫傷	骨折
割合	35.6%	33.7%	38.8%	27.4%	37.5%	28.0%	53.5%	30.1%	25.2%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	その他	骨折	打撲・挫傷
割合	31.9%	27.5%	20.7%	20.2%	25.0%	24.0%	17.5%	23.2%	21.4%
3位	捻挫	創傷(擦過傷)	靭帯・腱断裂	靭帯・腱断裂	骨折	刺傷	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	刺傷
割合	11.0%	14.7%	14.0%	13.1%	16.7%	14.0%	8.7%	16.3%	16.5%

表10-2 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移(平成30年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	打撲・挫傷	骨折	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	刺傷	打撲・挫傷	骨折
割合	31.4%	44.4%	45.1%	31.6%	50.0%	41.7%	64.5%	31.8%	29.9%
2位	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	骨折	骨折 他	骨折 他	創傷(擦過傷)	骨折	打撲・挫傷
割合	30.0%	25.0%	16.4%	21.1%	25.0%	16.7%	10.5%	28.8%	21.0%
3位	創傷(擦過傷)	刺傷	靭帯・腱断裂	創傷(擦過傷)		打撲・挫傷 他	眼疾患	創傷(擦過傷)	刺傷
割合	17.1%	13.9%	11.5%	15.8%		8.3%	7.9%	22.7%	14.3%

表10-3 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移(令和元年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	骨折	骨折	骨折	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	刺傷	打撲・挫傷	骨折
割合	39.7%	34.5%	44.4%	18.8%	50.0%	44.4%	58.6%	29.2%	27.7%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	火傷 他	骨折 他	靭帯・腱断裂	創傷(擦過傷) 他	骨折	打撲・挫傷
割合	27.0%	30.9%	18.8%	12.5%	12.5%	22.2%	14.1%	24.6%	21.2%
3位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	靭帯・腱断裂	創傷(擦過傷) 他		骨折 他	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	刺傷
割合	11.1%	12.7%	14.3%	6.3%		11.1%	7.1%	18.5%	14.7%

表10-4 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移(令和2年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	骨折	打撲・挫傷	骨折	骨折	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷 他	刺傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	37.1%	37.8%	30.0%	30.0%	50.0%	22.2%	51.8%	36.2%	24.7%
2位	打撲・挫傷	骨折	創傷(擦過傷)	靭帯・腱断裂	骨折	靭帯・腱断裂 他	その他	骨折	骨折
割合	35.7%	24.4%	28.0%	20.0%	33.3%	11.1%	15.8%	27.6%	23.1%
3位	捻挫(腰痛を除く)	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	打撲・挫傷 他	靭帯・腱断裂		打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	刺傷
割合	11.4%	20.0%	22.0%	15.0%	16.7%		11.4%	15.5%	18.5%

表10-5 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移(令和3年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	骨折	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	刺傷	打撲・挫傷	骨折
割合	36.5%	33.8%	32.9%	33.3%	100.0%	38.5%	61.8%	23.3%	22.3%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	骨折	骨折		打撲・挫傷	骨折	骨折	刺傷
割合	33.8%	26.2%	25.0%	26.7%		30.8%	9.6%	19.8%	21.4%
3位	靭帯・腱断裂	創傷(擦過傷) 他	創傷(擦過傷)	靭帯・腱断裂 他		骨折	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)
割合	12.2%	10.8%	11.8%	13.3%		15.4%	8.1%	16.3%	11.1%

表10-6 傷病別職種別発生状況上位3項目の推移(令和4年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	骨折	骨折	骨折	骨折	打撲・挫傷	刺傷	その他	打撲・挫傷	骨折
割合	35.1%	33.3%	38.7%	42.9%	75.0%	42.9%	39.2%	32.0%	23.5%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	靭帯・腱断裂	捻挫(腰痛を除く)	眼疾患	骨折 他	刺傷	骨折	打撲・挫傷
割合	31.2%	19.3%	22.5%	14.3%	25.0%	14.3%	38.6%	19.0%	18.7%
3位	捻挫(腰痛を除く)	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	打撲・挫傷 他			創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	刺傷
割合	15.6%	17.5%	18.9%	7.1%			8.5%	11.0%	14.1%

表11 事故形態別発生状況推移

(単位:件、%)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計	割合
墜落・転落	29	18	32	32	20	131	5.9%
転倒	64	60	56	71	95	346	15.6%
激突	62	87	31	39	59	278	12.6%
飛来・落下	7	7	14	14	12	54	2.4%
崩壊・倒壊	5			2	1	8	0.4%
激突され	23	23	12	11	27	96	4.3%
はさまれ・巻き込まれ	20	10	26	20	15	91	4.1%
切れ・こすれ	22	23	18	20	22	105	4.7%
踏み抜き	7	2	3	2	1	15	0.7%
おぼれ						-	-
高温・低温の物との接触	4	6	4	1	1	16	0.7%
有害物質等との接触	2	2		6	7	17	0.8%
感電				1		1	0.0%
爆発						-	-
破裂		1				1	0.0%
火災	2	2	1			5	0.2%
交通事故(道路)	7	15	5	13	7	47	2.1%
交通事故(その他)	3				1	4	0.2%
動作の反動・無理な動作	54	66	40	67	90	317	14.3%
故意の加害行為	8	7	3	13	6	37	1.7%
汚染血液による事故	57	75	81	98	75	386	17.4%
その他	29	44	46	57	84	260	11.7%
人数計	405	448	372	467	523	2,215	

表12 事故形態別発生状況上位3項目の推移

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	転倒	激突	汚染血液	汚染血液	転倒	汚染血液
割合	15.8%	19.4%	21.8%	21.0%	18.2%	17.4%
2位	激突	汚染血液	転倒	転倒	動作の反動	転倒
割合	15.3%	16.7%	15.1%	15.2%	17.2%	15.6%
3位	汚染血液	動作の反動	その他	動作の反動	その他	動作の反動
割合	14.1%	14.7%	12.4%	14.3%	16.1%	14.3%

表13 事故形態別職種別発生状況推移

(単位:件)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	合計
墜落・転落	36	23	15	8	3	2	1	43	131
転倒	103	59	58	9	4	7	33	73	346
激突	49	30	131	9	4	2	12	41	278
飛来・落下	13	12	3	3	2	6	3	12	54
崩壊・倒壊			5	3					8
激突され	32	19	10	4	1	6	1	23	96
はさまれ・巻き込まれ	17	14	18	5	2	2	8	25	91
切れ・こすれ	18	32	9	3	1	5	4	33	105
踏み抜き			6	1		1		7	15
おぼれ									-
高温・低温の物との接触	2	4		1			5	4	16
有害物質等との接触	1	2	1	1	1		3	8	17
感電							1		1
爆発									-
破裂						1			1
火災				5					5
交通事故(道路)		3	27	3	2	1	2	9	47
交通事故(その他)		1	1	1				1	4
動作の反動・無理な動作	60	37	131	17	2	6	29	35	317
故意の加害行為		3	25	1			0	8	37
汚染血液による事故			7	2			376	1	386
その他	23	19	45	8	2	11	100	52	260
人数計	354	258	492	84	24	50	578	375	2,215

表14-1 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	激突 他	動作の反動	転倒	その他	汚染血液	転倒	汚染血液
割合	29.1%	22.9%	26.6%	20.2%	16.7%	22.0%	65.1%	19.5%	17.4%
2位	動作の反動	動作の反動	転倒	転倒 他	墜落転落	転倒	その他	その他	転倒
割合	16.9%	14.3%	11.8%	10.7%	12.5%	14.0%	17.3%	13.9%	15.6%
3位	激突	切れ・こすれ	その他	墜落・転落 他	飛来・落下 他	飛来・落下 他	転倒	墜落・転落	動作の反動
割合	13.8%	12.4%	9.1%	9.5%	12.0%	12.0%	5.7%	11.5%	14.3%

表14-2 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(平成30年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	激突	激突 他	墜落転落	飛来・落下	汚染血液	転倒	転倒
割合	28.6%	25.0%	30.3%	15.8%	50.0%	25.0%	71.1%	28.8%	15.8%
2位	動作の反動	動作の反動	動作の反動	飛来・落下 他	激突 他	墜落・転落 他	その他	墜落・転落 他	激突
割合	14.3%	16.7%	19.7%	10.5%	25.0%	16.7%	14.5%	13.6%	15.3%
3位	墜落・転落 他	激突 他	転倒	墜落・転落 他		転倒 他	動作の反動	激突 他	汚染血液
割合	12.9%	11.1%	10.7%	5.3%		8.3%	7.9%	10.6%	14.0%

表14-3 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(令和元年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	激突	動作の反動	飛来・落下 他	切れこすれ 他	汚染血液	転倒	激突
割合	30.2%	16.4%	36.8%	25.0%	25.0%	22.2%	75.8%	18.5%	19.4%
2位	激突	激突 他	動作の反動	転倒 他	転倒 他	転倒 他	その他	その他	汚染血液
割合	25.4%	14.5%	27.1%	12.5%	12.5%	11.1%	13.1%	13.8%	16.7%
3位	動作の反動	動作の反動	転倒	はさまれ・巻き込まれ 他			転倒 他	激突 他	動作の反動
割合	17.5%	12.7%	10.5%	6.3%			2.0%	12.3%	14.7%

表14-4 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(令和2年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	その他	動作の反動	転倒	その他	汚染血液	転倒 他	汚染血液
割合	27.1%	22.2%	26.0%	20.0%	50.0%	44.4%	70.2%	15.5%	21.8%
2位	墜落転落	墜落・転落	動作の反動	その他	激突され 他	飛来・落下 他	転倒 他	その他	転倒
割合	18.6%	15.6%	22.0%	15.0%	16.7%	22.2%	7.9%	13.8%	15.1%
3位	動作の反動	激突 他	墜落・転落 他	墜落・転落 他		はさまれ・巻き込まれ 他	動作の反動	はさまれ・巻き込まれ	その他
割合	14.3%	13.3%	10.0%	10.0%		11.1%	4.4%	12.1%	12.4%

表14-5 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(令和3年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	動作の反動	墜落・転落 他	墜落・転落 他	転倒	汚染血液	墜落・転落	汚染血液
割合	28.4%	21.5%	21.1%	20.0%	50.0%	30.8%	68.4%	16.3%	21.0%
2位	動作の反動	その他	その他	転倒 他		激突され 他	転倒	動作の反動	転倒
割合	21.6%	13.8%	15.8%	13.3%		15.4%	9.6%	15.1%	15.2%
3位	激突	切れこすれ 他	激突	激突 他		飛来・落下 他	動作の反動	転倒	動作の反動
割合	14.9%	10.8%	14.5%	6.7%		7.7%	8.1%	10.5%	14.3%

表14-6 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(令和4年度)

	義務教育	義務その他	警察	消防	電気ガス水道	清掃	医療	その他	全体
1位	転倒	転倒	動作の反動	動作の反動	激突 他	その他	汚染血液	転倒	転倒
割合	31.2%	29.8%	39.6%	21.4%	25.0%	57.1%	48.4%	24.0%	18.2%
2位	動作の反動	動作の反動	激突	墜落・転落 他		転倒 他	その他	その他	動作の反動
割合	16.9%	24.6%	26.1%	14.3%		14.3%	37.9%	14.0%	17.2%
3位	激突され	激突 他	転倒	激突 他			転倒	墜落・転落	その他
割合	14.3%	12.3%	17.1%	7.1%			5.2%	10.0%	16.1%

表15 年齢別発生状況推移(義務教育)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代						-
20代	13	13	13	19	19	77
30代	13	8	13	12	14	60
40代	12	12	12	9	11	56
50代	25	24	25	23	23	120
60代以上	7	6	7	11	10	41
人数計	70	63	70	74	77	354

表16 傷病別発生状況推移(義務教育)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	21	25	26	27	27	126
打撲・挫傷	22	17	25	25	24	113
創傷(擦過傷)	12	7	5	4	5	33
刺傷			2		1	3
火傷	1	1				2
靭帯・腱断裂	4	6	4	9	5	28
捻挫(腰痛を除く)	6	4	8	9	12	39
神経損傷	1					1
脳疾患		1			1	2
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)						-
呼吸器疾患		1				1
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛	2	1			2	5
頸肩腕症候群						-
皮膚炎						-
眼疾患						-
耳疾患	1					1
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他						-
人数計	70	63	70	74	77	354

表17 傷病別発生状況上位3項目の推移(義務教育)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	打撲・挫傷	骨折	骨折	骨折	骨折	骨折
割合	31.4%	39.7%	37.1%	36.5%	35.1%	35.6%
2位	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	30.0%	27.0%	35.7%	33.8%	31.2%	31.9%
3位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	捻挫(腰痛を除く)	靭帯・腱断裂 他	捻挫(腰痛を除く)	捻挫(腰痛を除く)
割合	17.1%	11.1%	11.4%	12.2%	15.6%	11.0%

表18 事故形態別発生状況推移(義務教育)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	9	3	13	6	5	36
転倒	20	19	19	21	24	103
激突	9	16	5	11	8	49
飛来・落下	2	2	2	4	3	13
崩壊・倒壊						-
激突され	8	4	6	3	11	32
はさまれ・巻き込まれ	2		7	2	6	17
切れ・こすれ	6	4	3	1	4	18
踏み抜き						-
おぼれ						-
高温・低温の物との接触	1	1				2
有害物質等との接触		1				1
感電						-
爆発						-
破裂						-
火災						-
交通事故(道路)						-
交通事故(その他)						-
動作の反動・無理な動作	10	11	10	16	13	60
故意の加害行為						-
汚染血液による事故						-
その他	3	2	5	10	3	23
人数計	70	63	70	74	77	354

表19 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(義務教育)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	転倒	転倒	転倒	転倒	転倒	転倒
割合	28.6%	30.2%	27.1%	28.4%	31.2%	29.1%
2位	動作の反動	激突	墜落・転落	動作の反動	動作の反動	動作の反動
割合	14.3%	25.4%	18.6%	21.6%	16.9%	16.9%
3位	墜落・転落他	動作の反動	動作の反動	激突	激突され	激突
割合	12.9%	17.5%	14.3%	14.9%	14.3%	13.8%

表20 年齢別発生状況推移(義務その他)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代						-
20代	7	6	3	6	4	26
30代	7	11	12	10	8	48
40代	8	14	8	15	14	59
50代	9	17	16	26	18	86
60代以上	5	7	6	8	13	39
人数計	36	55	45	65	57	258

表21 傷病別発生状況推移(義務その他)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	16	19	11	22	19	87
打撲・挫傷	9	17	17	17	11	71
創傷(擦過傷)	5	7	9	7	10	38
刺傷		4	1	1		6
火傷	1	1	1	1	1	5
靭帯、腱断裂	1		3	7	7	18
捻挫(腰痛を除く)	2	6	3	5	7	23
神経損傷						-
脳疾患	1			1		2
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)						-
呼吸器疾患						-
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛	1	1		1	2	5
頸肩腕症候群						-
皮膚炎						-
眼疾患				1		1
耳疾患						-
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他				2		2
人数計	36	55	45	65	57	258

表22 傷病別発生状況上位3項目の推移(義務その他)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	骨折	骨折	打撲・挫傷	骨折	骨折	骨折
割合	44.4%	34.5%	37.8%	33.8%	33.3%	33.7%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	骨折	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	25.0%	30.9%	24.4%	26.2%	19.3%	27.5%
3位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)他	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)
割合	13.9%	12.7%	20.0%	10.8%	17.5%	14.7%

表23 事故形態別発生状況推移(義務その他)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	3	6	7	6	1	23
転倒	9	9	10	14	17	59
激突	4	8	6	5	7	30
飛来・落下		1	3	5	3	12
崩壊・倒壊						-
激突され	4	6	2	2	5	19
はさまれ・巻き込まれ	4	2	3	5		14
切れ・こすれ	4	8	6	7	7	32
踏み抜き						-
おぼれ						-
高温・低温の物との接触	1		1	1	1	4
有害物質等との接触		1		1		2
感電						-
爆発						-
破裂						-
火災						-
交通事故(道路)		1		1	1	3
交通事故(その他)					1	1
動作の反動・無理な動作	6	7	3	7	14	37
故意の加害行為		1		2		3
汚染血液による事故						-
その他	1	5	4	9		19
人数計	36	55	45	65	57	258

表24 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(義務その他)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	転倒	転倒	転倒	転倒	転倒	転倒
割合	25.0%	16.4%	22.2%	21.5%	29.8%	22.9%
2位	動作の反動	激突 他	墜落・転落	その他	動作の反動	動作の反動
割合	16.7%	14.5%	15.6%	13.8%	24.6%	14.3%
3位	激突 他	動作の反動	激突 他	切れこすれ 他	激突 他	切れこすれ
割合	11.1%	12.7%	13.3%	10.8%	12.3%	12.4%

表25 年齢別発生状況推移(警察)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代	2	1	2	2	1	8
20代	32	45	14	27	47	165
30代	60	48	17	25	27	177
40代	16	30	9	15	30	100
50代	11	9	8	7	6	41
60代以上	1					1
人数計	122	133	50	76	111	492

表26 傷病別発生状況推移(警察)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	55	59	15	19	43	191
打撲・挫傷	20	25	11	25	21	102
創傷(擦過傷)	10	13	14	9	4	50
刺傷	4	1	1	2	2	10
火傷						-
靱帯・腱断裂	14	19	4	7	25	69
捻挫(腰痛を除く)	11	11	4	5	14	45
神経損傷		2		1		3
脳疾患						-
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)						-
呼吸器疾患						-
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛	1	1	1	2	2	7
頸肩腕症候群						-
皮膚炎						-
眼疾患				2		2
耳疾患	1	2				3
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他	6			4		10
人数計	122	133	50	76	111	492

表27 傷病別発生状況上位3項目の推移(警察)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	骨折	骨折	骨折	打撲・挫傷	骨折	骨折
割合	45.1%	44.4%	30.0%	32.9%	38.7%	38.8%
2位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	骨折	靱帯・腱断裂	打撲・挫傷
割合	16.4%	18.8%	28.0%	25.0%	22.5%	20.7%
3位	靱帯・腱断裂	靱帯・腱断裂	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	靱帯・腱断裂
割合	11.5%	14.3%	22.0%	11.8%	18.9%	14.0%

表28 事故形態別発生状況推移(警察)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	3	3	5	2	2	15
転倒	13	14	4	8	19	58
激突	37	49	5	11	29	131
飛来・落下				1	2	3
崩壊・倒壊	4				1	5
激突され	3	4	2		1	10
はさまれ・巻き込まれ	9	1	2	3	3	18
切れ・こすれ	2	3	2	1	1	9
踏み抜き	4	1	1			6
おぼれ						-
高温・低温の物との接触						-
有害物質等との接触				1		1
感電						-
爆発						-
破裂						-
火災						-
交通事故(道路)	6	6	4	9	2	27
交通事故(その他)	1					1
動作の反動・無理な動作	24	36	11	16	44	131
故意の加害行為	7	5	1	9	3	25
汚染血液による事故	3			3	1	7
その他	6	11	13	12	3	45
人数計	122	133	50	76	111	492

表29 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(警察)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	激突	激突	その他	動作の反動	動作の反動	激突 他
割合	30.3%	36.8%	26.0%	21.1%	39.6%	26.6%
2位	動作の反動	動作の反動	動作の反動	その他	激突	転倒
割合	19.7%	27.1%	22.0%	15.8%	26.1%	11.8%
3位	転倒	転倒	墜落・転落 他	激突	転倒	その他
割合	10.7%	10.5%	10.0%	14.5%	17.1%	9.1%

表30 年齢別発生状況推移(消防)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代			1	1	1	3
20代	7	5	9	9	10	40
30代	2	5	3	3	2	15
40代	5	6	4	1		16
50代	5		3	1		9
60代以上					1	1
人数計	19	16	20	15	14	84

表31 傷病別発生状況推移(消防)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	4	3	6	4	6	23
打撲・挫傷	6	2	3	5	1	17
創傷(擦過傷)	3	1	3			7
刺傷			2	1		3
火傷	2	2	1			5
靭帯・腱断裂	2	2	4	2	1	11
捻挫(腰痛を除く)	1	2		2	2	7
神経損傷						-
脳疾患						-
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)					1	1
呼吸器疾患						-
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛		1			1	2
頸肩腕症候群						-
皮膚炎	1					1
眼疾患		1			1	2
耳疾患		1	1			2
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他		1		1	1	3
人数計	19	16	20	15	14	84

表32 傷病別発生状況上位3項目の推移(消防)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	打撲・挫傷	骨折	骨折	打撲・挫傷	骨折	骨折
割合	31.6%	18.8%	30.0%	33.3%	42.9%	27.4%
2位	骨折	火傷 他	靭帯・腱断裂	骨折	捻挫(腰痛を除く)	打撲・挫傷
割合	21.1%	12.5%	20.0%	26.7%	14.3%	12.14%
3位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷 他	靭帯・腱断裂 他	打撲・挫傷 他	靭帯・腱断裂 他
割合	15.8%	6.3%	15.0%	13.3%	7.1%	13.1%

表33 事故形態別発生状況推移(消防)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	1		2	3	2	8
転倒	1	2	2	2	2	9
激突	3	2	2	1	1	9
飛来・落下	2		1			3
崩壊・倒壊	1			2		3
激突され	2			1	1	4
はさまれ・巻き込まれ		1	2	1	1	5
切れ・こすれ	1	1	1			3
踏み抜き			1			1
おぼれ						-
高温・低温の物との接触		1				1
有害物質等との接触	1					1
感電						-
爆発						-
破裂						-
火災	2	2	1			5
交通事故(道路)	1				2	3
交通事故(その他)	1					1
動作の反動・無理な動作	3	4	4	3	3	17
故意の加害行為		1				1
汚染血液による事故			1	1		2
その他		2	3	1	2	8
人数計	19	16	20	15	14	84

表34 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(消防)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	激突 他	動作の反動	動作の反動	墜落・転落 他	動作の反動	動作の反動
割合	15.8%	25.0%	20.0%	20.0%	21.4%	20.2%
2位	飛来・落下 他	転倒 他	その他	転倒 他	墜落・転落 他	転倒 他
割合	10.5%	12.5%	15.0%	13.3%	14.3%	10.7%
3位	墜落・転落 他	はさまれ・巻き込まれ 他	墜落・転落 他	激突 他	激突 他	墜落・転落 他
割合	5.3%	6.3%	10.0%	6.7%	7.1%	9.5%

表35 年齢別発生状況推移(電気ガス水道)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代						—
20代	1		2		2	5
30代		4		1		5
40代	1	3	2		1	7
50代	1	1	2	1	1	6
60代以上	1					1
人数計	4	8	6	2	4	24

表36 傷病別発生状況推移(電気ガス水道)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	1	1	2			4
打撲・挫傷	2	4			3	9
創傷(擦過傷)		1	3	2		6
刺傷						—
火傷						—
靭帯・腱断裂			1			1
捻挫(腰痛を除く)	1	1				2
神経損傷						—
脳疾患						—
心疾患		1				1
精神疾患(自殺を除く)						—
呼吸器疾患						—
肝臓疾患						—
胸腹部臓器疾患						—
食中毒						—
腰痛						—
頸肩腕症候群						—
皮膚炎						—
眼疾患					1	1
耳疾患						—
鼻疾患						—
自殺(未遂含む)						—
その他						—
人数計	4	8	6	2	4	24

表37 傷病別発生状況上位3項目の推移(電気ガス水道)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	75.0%	37.5%
2位	骨折 他	骨折 他	骨折		眼疾患	創傷(擦過傷)
割合	25.0%	12.5%	33.3%		25.0%	25.0%
3位			靭帯・腱断裂			骨折
割合			16.7%			16.7%

表38 事故形態別発生状況推移(電気ガス水道)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	2			1		3
転倒		1	3			4
激突	1	1		1	1	4
飛来・落下		2				2
崩壊・倒壊						—
激突され			1			1
はさまれ・巻き込まれ	1				1	2
切れ・こすれ			1			1
踏み抜き						—
おぼれ						—
高温・低温の物との接触						—
有害物質等との接触					1	1
感電						—
爆発						—
破裂						—
火災						—
交通事故(道路)		2				2
交通事故(その他)						—
動作の反動・無理な動作			1		1	2
故意の加害行為						—
汚染血液による事故						—
その他		2				2
人数計	4	8	6	2	4	24

表39 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(電気ガス水道)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	墜落・転落	飛来・落下 他	転倒	墜落・転落 他	激突 他	転倒 他
割合	50.0%	25.0%	50.0%	50.0%	25.0%	16.7%
2位	激突 他	転倒 他	激突され 他			墜落・転落
割合	25.0%	12.5%	16.7%			12.5%
3位						飛来・落下 他
割合						8.3%

表40 年齢別発生状況推移(清掃)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代						-
20代						-
30代	1	2				3
40代	6	4		2	1	13
50代	3		7	6	4	20
60代以上	2	3	2	5	2	14
人数計	12	9	9	13	7	50

表41 傷病別発生状況推移(清掃)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	2	1		2	1	6
打撲・挫傷	1	4	2	4	1	12
創傷(擦過傷)	5	1	2	5	1	14
刺傷	1		2	1	3	7
火傷						-
靭帯・腱断裂		2	1			3
捻挫(腰痛を除く)	2		1			3
神経損傷						-
脳疾患						-
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)						-
呼吸器疾患						-
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛						-
頸肩腕症候群						-
皮膚炎						-
眼疾患	1	1				2
耳疾患						-
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他			1	1	1	3
人数計	12	9	9	13	7	50

表42 傷病別発生状況上位3項目の推移(清掃)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	創傷(擦過傷)	打撲・挫傷	打撲・挫傷 他	創傷(擦過傷)	刺傷	創傷(擦過傷)
割合	41.7%	44.4%	22.2%	38.5%	42.9%	28.0%
2位	骨折 他	靭帯・腱断裂	靭帯・腱断裂 他	打撲・挫傷	骨折 他	打撲・挫傷
割合	16.7%	22.2%	11.1%	30.8%	14.3%	24.0%
3位	打撲・挫傷 他	骨折 他		骨折		刺傷
割合	8.3%	11.1%		15.4%		14.0%

表43 事故形態別発生状況推移(清掃)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	2					2
転倒	1	1		4	1	7
激突	1	1				2
飛来・落下	3		2	1		6
崩壊・倒壊						-
激突され	2	1		2	1	6
はさまれ・巻き込まれ			1	1		2
切れ・こすれ		2		2	1	5
踏み抜き	1					1
おぼれ						-
高温・低温の物との接触						-
有害物質等との接触						-
感電						-
爆発						-
破裂		1				1
火災						-
交通事故(道路)		1				1
交通事故(その他)						-
動作の反動・無理な動作	1	2	2	1		6
故意の加害行為						-
汚染血液による事故						-
その他	1		4	2	4	11
人数計	12	9	9	13	7	50

表44 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(清掃)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	飛来・落下	切れ・こすれ 他	その他	転倒	その他	その他
割合	25.0%	22.2%	44.4%	30.8%	57.1%	22.0%
2位	墜落・転落 他	転倒 他	飛来・落下 他	激突され 他	転倒 他	転倒
割合	16.7%	11.1%	22.2%	15.4%	14.3%	14.0%
3位	転倒 他		はさまれ・巻き込まれ	飛来・落下 他		飛来・落下 他
割合	8.3%		11.1%	7.7%		12.0%

表45 年齢別発生状況推移(医療)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代						-
20代	28	46	47	43	47	211
30代	22	28	38	45	52	185
40代	16	16	17	24	32	105
50代	10	9	10	17	16	62
60代以上			2	7	6	15
人数計	76	99	114	136	153	578

表46 傷病別発生状況推移(医療)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	3		10	13	8	34
打撲・挫傷	4	7	13	8	5	37
創傷(擦過傷)	8	14	4	11	13	50
刺傷	49	58	59	84	59	309
火傷	1	2	2	1		6
靭帯、腱断裂	1				1	2
捻挫(腰痛を除く)		3	4	3	2	12
神経損傷			1			1
脳疾患	1					1
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)						-
呼吸器疾患	1	1	1			3
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛	2		2	6	4	14
頸肩腕症候群						-
皮膚炎					1	1
眼疾患	6			1		7
耳疾患						-
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他		14	18	9	60	101
人数計	76	99	114	136	153	578

表47 傷病別発生状況上位3項目の推移(医療)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	刺傷	刺傷	刺傷	刺傷	その他	刺傷
割合	64.5%	58.6%	51.8%	61.8%	39.2%	53.5%
2位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)他	その他	骨折	刺傷	その他
割合	10.5%	14.1%	15.8%	9.6%	38.6%	17.5%
3位	眼疾患	打撲・挫傷	打撲・挫傷	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)
割合	7.9%	7.1%	11.4%	8.1%	8.5%	8.7%

表48 事故形態別発生状況推移(医療)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落		1				1
転倒	1	2	9	13	8	33
激突		2	4	2	4	12
飛来・落下		1	1		1	3
崩壊・倒壊						-
激突され	1					1
はさまれ・巻き込まれ	1	1	4	1	1	8
切れ・こすれ		1		3		4
踏み抜き						-
おぼれ						-
高温・低温の物との接触	1	2	2			5
有害物質等との接触	1			1	1	3
感電				1		1
爆発						-
破裂						-
火災						-
交通事故(道路)				2		2
交通事故(その他)						-
動作の反動・無理な動作	6	1	5	11	6	29
故意の加害行為						-
汚染血液による事故	54	75	80	93	74	376
その他	11	13	9	9	58	100
人数計	76	99	114	136	153	578

表49 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(医療)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	汚染血液による事故	汚染血液による事故	汚染血液による事故	汚染血液による事故	汚染血液による事故	汚染血液による事故
割合	71.1%	75.8%	70.2%	68.4%	48.4%	65.1%
2位	その他	その他	転倒他	転倒	その他	その他
割合	14.5%	13.1%	7.9%	9.6%	37.9%	17.3%
3位	動作の反動	転倒他	動作の反動	動作の反動	転倒	転倒
割合	7.9%	2.0%	4.4%	8.1%	5.2%	5.7%

表50 年齢別発生状況推移(その他)

(単位:件)

年齢別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
10代			1			1
20代	11	8	9	12	12	52
30代	12	10	8	13	22	65
40代	18	20	12	26	27	103
50代	23	23	21	27	27	121
60代以上	2	4	7	8	12	33
人数計	66	65	58	86	100	375

表51 傷病別発生状況推移(その他)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
骨折	19	16	16	17	19	87
打撲・挫傷	21	19	21	20	32	113
創傷(擦過傷)	15	12	9	14	11	61
刺傷	2	3	2	11	9	27
火傷	1	2	1			4
靭帯、腱断裂	2	6	1	4	8	21
捻挫(腰痛を除く)	5	4	2	10	9	30
神経損傷		2			1	3
脳疾患						-
心疾患						-
精神疾患(自殺を除く)		1				1
呼吸器疾患				2	1	3
肝臓疾患						-
胸腹部臓器疾患						-
食中毒						-
腰痛			2	1	3	6
頸肩腕症候群			1			1
皮膚炎					2	2
眼疾患				4	4	8
耳疾患						-
鼻疾患						-
自殺(未遂含む)						-
その他	1		3	3	1	8
人数計	66	65	58	86	100	375

表52 傷病別発生状況上位3項目の推移(その他)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷	打撲・挫傷
割合	31.8%	29.2%	36.2%	23.3%	32.0%	30.1%
2位	骨折	骨折	骨折	骨折	骨折	骨折
割合	28.8%	24.6%	27.6%	19.8%	19.0%	23.2%
3位	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)	創傷(擦過傷)
割合	22.7%	18.5%	15.5%	16.3%	11.0%	16.3%

表53 事故形態別発生状況推移(その他)

(単位:件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
墜落・転落	9	5	5	14	10	43
転倒	19	12	9	9	24	73
激突	7	8	9	8	9	41
飛来・落下		1	5	3	3	12
崩壊・倒壊						-
激突され	3	8	1	3	8	23
はさまれ・巻き込まれ	3	5	7	7	3	25
切れ・こすれ	9	4	5	6	9	33
踏み抜き	2	1	1	2	1	7
おぼれ						-
高温・低温の物との接触	1	2	1			4
有害物質等との接触				3	5	8
感電						-
爆発						-
破裂						-
火災						-
交通事故(道路)		5	1	1	2	9
交通事故(その他)	1					1
動作の反動・無理な動作	4	5	4	13	9	35
故意の加害行為	1		2	2	3	8
汚染血液による事故				1		1
その他	7	9	8	14	14	52
人数計	66	65	58	86	100	375

表54 事故形態別職種別上位3項目発生状況の推移(その他)

年度別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	全体
1位	転倒	転倒	転倒 他	墜落・転落	転倒	転倒
割合	28.8%	18.5%	15.5%	16.3%	24.0%	19.5%
2位	墜落・転落 他	その他	その他	動作の反動	その他	その他
割合	13.6%	13.8%	13.8%	15.1%	14.0%	13.9%
3位	激突 他	激突 他	はさまれ・巻き込まれ	転倒	墜落・転落	墜落・転落
割合	10.6%	12.3%	12.1%	10.5%	10.0%	11.5%